

令和7年度 学校評価表（最終）

三次市立青河小学校

	中期経営目標	短期経営目標	評価の妥当性 A・B・C	理由・意見
確かな学力		<基礎・基本の確実な定着> 基礎・基本の学力（読解力、計算力）の向上を図る。（教務部）	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導により、個々の能力に対応して工夫していると感じた。 ・きらきらタイムを給食待ち時間に設定し、児童・職員双方の時間を有効的に活用され、成果に繋がっている。 ・放課後子ども教室で感じるののは、問題文を読まないこと。特に、低学年は読むことが苦手の様子である。読むおもしろさを体験させていただきたい。 ・きらきらタイムをより充実させてほしい。
		<思考力・判断力・表現力の向上> 筋道立てて考え、情報を整理し、相手や目的に応じて豊かに表現する力を高める。（教務部）	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の表現力は高く、探究活動発表会の児童による感情を込めた表現は感動した。 ・児童の実態をふまえた個別指導が重要だと感じた。 ・「かく力検定」児童の伸びを指標としている点もよい。 ・ひとり一人のつまずきや発達段階に合わせた取り組みが、児童の安心感につながっている。 ・少人数教育を生かした、細やかな指導に期待する。
豊かな心	児童一人一人の自己有用感の高揚を図る。	<自立・トライ> 地域の自然環境や人々から色々なことを学び、そのことを活かして自分の将来に向かい目標をもち、協働しながら生活する児童を育てる。（生徒指導部）	A	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動発表会の児童発表は、地域の特性をふまえた内容で、児童と地域との協働も見られてよかった。（児童の姿に取り組みの成果が表れていた） ・地域と一体となった活動が、児童にとっても自信をもって学習していることがよく伝わった。 ・一人ひとりが自分事として主体性があると感じた。「青河をよくしたい」という児童がしっかり育っている。 ・地域の人から、四季の営みや環境について学んだことが、行事を通して、たくさんの人から、賞賛され自信につながり、次の活動の意欲になっている。 ・高学年から、将来になりたい、やりたい仕事をもてるような指導をしていただきたい。
		<自立・トライ> 「考え、進んで行動する力」（主体性）を育てる。（生徒指導部）	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に意見を述べる児童の姿が見られた。 ・少人数ならではの縦割り班活動によって、学校全体の伝統にもつながる。 ・掃除の姿を見たが、黙々と懸命に取り組んでいた。 ・挨拶ができていますが、大きな声で行えるように育ててほしい。
健やかな体	たくましく生きるための体力を育成する。	<体力の向上> 目標をもって継続して取り組み、体力を向上させる児童を育てる。（生徒指導部）	A	<ul style="list-style-type: none"> ・走り方教室を取り入れ、理論的に指導を行っている点がよかった。 ・外部講師から専門的なことを学ぶのがよい。（講師招聘の成果は大きいと感じる） ・少人数で1ポイントが大きな意味をもつ中で、素晴らしいと思う。
信頼される学校	学校信頼度の向上を図り、学校力の充実を図る。	<特色ある取組> 信頼され、開かれた学校づくりに向けた連携と情報発信を行う。（総務部）	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに情報を随時更新していただき、安心感がある。 ・保護者の肯定的評価が100%はすごい。地道な取り組みがこの成果につながっている。 ・アウトプットの場を意図的に仕組んでおられる成果がみられる。 ・児童発表の場では、各学年の探究活動が年齢により興味・関心・表現と力がついていることが分かった。どのようにしたら、相手に伝わるのかという工夫も見られた。 ・発表を見て、児童が地域に対して強い思い入れがあることが伺えた。
		<組織力の向上> 働き方改革の意義を踏まえた取組の推進と協働する学校体制を確立する。（総務部）	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の電気が夜遅くついていることが少ないので、改善されていると感じる。 ・全職員が同じ方向性をもって業務に当たっていることがよく分かる。 ・意識が上昇しているのが取り組みの成果だと思う。 ・児童を教職員のみならずで指導している姿が伺えた。